



「高須中学校に赴任して」

高須中学校 校長 岩本 健司

「おはようございます！」子どもたちの爽やかなあいさつと明るい笑顔に包まれて、気持ちの良い学校生活がやっとスタートできました。毎朝、生徒たちが登校してくるのを迎えるのが私の日課となり、とても楽しい時間となりつつあります。

4月の異動で、高須中学校に赴任して参りました、校長の岩本健司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

明るく元気な生徒たちと、情熱溢れる先生方に出会い、高須中学校の素晴らしさを改めて痛感しました。また、保護者や地域の方々に支えられて、優れた教育活動が行われていることも実感しています。

さて、今年度本校では『一人一人 ひとつひとつ を大切に』という学校経営理念のもと、こころ豊かな生徒の育成を目指しています。それを基盤として「学力向上」「体力向上」という大きな目標へチャレンジしているところです。そして「校門を通ったとき、学級で自分の席に着いたときに、ホッとできる。安心して心が落ち着く。」学校を作り上げていきます。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。



「高須小PTAと地域がワンチームで協力を！」

高須小学校 PTA 会長 島村由香

今年度より高須小学校 PTA 会長に就任いたしました島村由香と申します。

皆様におかれましては日頃より PTA 活動にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

世の中は新型コロナウイルス感染拡大で混乱しており、様々な行事や予定

が中止となり、気分も暗くなりがちですが、このようなときこそ PTA と皆様とで一丸となり、様々な制限の中でも出来ることを考え、皆様が少しでも笑って過ごせるよう、ワンチームで協力し合えたらと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



高須西 ふれあい・いきいきサロン

副会長 福祉協力員（西班） 田代 香

高須西の「年長者いこいの家」でサロン活動を始めて早十年が経過しました。参加者と福祉協力員が合わせて四十人近くになる月もありました。しかし高齢者にとっての十年は身体の衰えや気力低下が進み、参加し続けるのは難しいようです。ひとりふたりと施設へ入所されたりディケアに通所される様になり、参加者の減少が進んでいます。

私たち協力員も十才歳を重ね、気合を入れねばなりません！。今、高須地域は高齢化のスピードも速く、また高齢者のみの世帯の増加に驚かされます。年をとっても安心して暮らしていける地域づくりに

「サロン」は大切なふれあいの場所でありたいと思います。ワイワイガヤガヤ楽しいサロン・健康づくりのサロンを皆で知恵を出し合ってこれからも進めていきます。

*三月末の高須西第五回お花見サロンは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。楽しみにされていた方も多かったと思います。来春は桜の下盛大にしましょう！そして多くの方のサロン参加をお待ちしています。



高須東年長者のひろば～お話サロン～

福祉協力員（東班） 渡辺紀早子

「サロン活動」は平成5～6年頃、高齢者のひきこもりや閉じこもり、孤独といった状況が社会的に問題視され、全国各地で始まりました。

ここ高須東の「お話サロン」は平成19年に社会福祉協議会の見守り活動として始まり、気ままなおしゃべりや歌に踊り、時には救命の講習会など楽しい集まりが、13年間続いてきました。歩いて行けて、気軽に立ち寄れる場所としながらも、ここ数年で参加者が少しづつ減っています。今、新型コロナウイルスの影響で集まることができず、お顔も見れなくて淋しい思いがつのります。誰かとお話してませんか？お家で体操してませんか？「3密」を避けながら、マスクをしながらのサロンの集まりは工夫が必要ですが、また再開の時はお知らせします。このコロナの時期をどう過ごされたか、是非お話聞かせてください。



新型コロナ禍、みんなで予防。地域のつながり輪を広げましょう。

副会長・地域生活支援相談員 山本 直子

今回予想だにしないコロナ感染で、多くの方が恐怖や不安の毎日を過ごしています。こんな時こそ、直接自宅に訪問して、皆さんを元気づけたい、寄り添いたいという気持ちですが、ステイホームを守り、電話訪問で、近況を伺って来ました。そんな中、「玄関口で倒れ骨折してしばらく動けず、大変だった」「誰とも話してなかったのが寂しかった、電話もらって嬉しかった」「家の中ばかりで外に出ていない」などのお話を伺って、心身共にいろいろなことが起きていることに胸が痛みました。辛い体験ではありましたが、私達社協が、これから先どう取り組んでいけばいいのか学ぶこともありました。

- ・お一人暮らしの方や高齢家庭の電話番号をお聴きしておく。
- ・日頃より訪問活動で顔見知りになっておく。
- ・見守りや声かけを密にする。



災害と同様、いつやってくるかわからない感染症に対して、自治会やまちづくり協議会と手を携えて、地域のつながりの輪を広げていくことの大切さを強く感じました。どんな事でも大丈夫です。一人で抱え込まないで、お電話ください。お待ちしております。

※生活でのお困り事、ちょっとした応援タイのご相談コーナーを高須市民センターに常設しています。お気軽にお立ち寄りください。連絡電話番号 080-8353-1673

地震・水害・台風は、忘れた頃にやってくる！注意！

会計 福祉協力員 高崎 弘子

今年も梅雨の季節が来ました。ここ数年、梅雨時期の大雨や台風による被害が毎年起こっています。地震も度々起こり、熊本の益城町に行って、被災者の方とお話ししたときに、「まさか自分がこんな大きな地震にあって家を失うことになるとは思ってもいなかった」と言われていました。

私たちも、いつ自分たちの身に災害がおきるかわからないと思います。私たちが自分でできることは、日ごろから紙類（トイレトペーパー・ティッシュペーパーなど）・食品・水などを備蓄しておくこと。使ったら補充するローリングストックを習慣にすること。宮城県に行った時には「自分の家には水があるので、困っている知り合いに届けたかったが、車のガソリンが手に入らず、届けることができなかった」と言われていました。車のガソリンは半分以下になったら満タンにしておくの良いそうです。



私は宮城・福島被災地を訪問し、被災者の方とお話ししたり、熊本・朝倉郡杷木町・東峰村に炊き出しのお手伝いに行ったりしました。そこで私にできることはほんの少ししかありませんが、被災者の方からは「来てくれてありがとう」「被災地のことを忘れないで」と言われました。できることはもう一つあります。被災地のものを買って応援することです。これはどこにも行けなかった今年でもできる応援だと思います。

新型コロナの感染拡大を防ぐために、お口の中を健康にしよう

事務局 渡辺紀早子

歯磨きはしてますか？当たり前！してますよね。まだ40代の頃、食後につまようじは必要あり+歯間ブラシ+それが今では歯間ブラシを手放せません。食後には歯間ブラシで丁寧に歯間のお掃除。「お口の中を健康に保つこと」も、感染予防にとっても大事なことなのだそうです。しっかり歯が磨けていない、口の中の衛生状態が悪化すると、口腔内の細菌の数が増えてしまいます。



そうすると免疫力が低下したり、細菌による炎症を併発する。結果ウイルス性肺炎が重症化する傾向があります。もう一つ大切なのが、「咀嚼と栄養」です。実は咀嚼機能は、免疫力を落とさないために、とても大事なのです。入れ歯が合わないから使わない、むし歯がひどくしっかり噛めない人もいます。そうした方はとくに要注意です。噛めない事で、しっかり食べれないと低栄養につながり、免疫力の低下を招きます。元に戻って免疫力の低下は新型コロナウイルス感染症の重症化につながる恐れがあります。

